

かお・人・interview

2025年9月16日

所長

インタビュー



国土交通省 九州地方整備局
菊池川河川事務所 所長

上水樽 昌幸氏

KAMIMIZUTARU Masayuki

菊池川は、熊本県最北端の一級河川。その流域人口は約20万人で、玉名市、山鹿市、菊池市等の市街地に人口及び資産が集中しているため、ひとたび氾濫すると甚大な被害が発生する。菊池川河川事務所は、菊池川及び支川の河川整備や維持管理、竜門ダムの管理運用を担う。「あらゆる関係者が流域全体で行う持続可能な「流域治水」への取り組みが重要」と語る上水樽昌幸所長に話を聞いた。

Q所長就任にあたっての抱負

近年、地球温暖化に伴う気候変動により雨の降り方や水害の形態が変わり、全国各地で水害が激甚化・頻発化してきていると感じています。九州でも平成29年九州北部豪雨や令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生しており、このような水害は菊池川でも例外ではなく、これまでに整備した河川堤防等の施設能力を上回るような洪水の発生が懸念されます。

このようなことから、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、集水域を含めた菊池川流域に関わるあらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」への取り組みが重要です。

引き続き、河川堤防や河道掘削などのハード対策による事前防災を推進するとともに、被害対象を減少させるためのソフト対策等、関係機関の皆様と継続して取り組み、地域にお住まいの皆様の安全・安心確保に努めて参りたいと思います。



▲菊池川支川合志川 植木温泉街付近の浸水状況 (H24年7月)

Q熊本県や九州地区との関わりについて

平成4年に建設省に入省以降、令和5年から2年間出向した水管理・国土保全局防災課勤務を除いては、九州地方整備局管内での勤務です。九州管内では福岡、大分、熊本、宮崎、鹿児島で勤務しさまざまな経験をさせていただきました。

これまでの勤務のなかで印象に残っている勤務先は、筑後川河川事務所日田出張所(大分県日田市)での勤務です。平成16年、大分県日田市で河川改修を行うにあたり、住民参加をテーマに川づくりに取り組みました。取り組みでは、地域のニーズをよりきめ



▲菊池市かわまちづくり（追間川隈府・玉祥寺地区）

細やかに反映した河川整備を行うことができました。

地域が描いた川づくりを現場で作り上げていくのは工事の受注者になります。地域の想いを受注者に伝え、共有することでより良い川づくりができました。完成後、地域から大変喜んでいただき、地元商店街の主催による完成記念イベントが催され、そのイベントの一部は「千年あかり」として現在も続いています。この取り組みは川づくりがまちづくりや地域おこしに発展し、まちを元気にすることを実感できた経験として印象に残っています。

また、熊本県内の勤務は今回4回目で、菊池川河川事務所は初めての勤務となります。それまでは八代河川

国道事務所管内で球磨川の河川工事の発注や工事監督・維持管理、川辺川ダム砂防事務所でダム事業に係る道路の付替工事等に携わらせていただきました。そのため球磨川水系は思い出深い地域ですが、令和2年7月豪雨により地域が甚大な被害を受けたことは大変衝撃的であり、改めて河川整備の重要性を痛感させられた出来事でした。

Q 当事務所の紹介

当事務所は、事務所幹部、5課、2出張所（玉名、山鹿）、1ダム管理支所で構成されており、職員・期間業務職員を含めると約50名で菊池川の河川整備や維持管理、竜門ダムの管理を行っています。

河川事業では、菊池川本支川の国が管理する区間で、築堤や河道掘削等の河川改修や維持管理、かわまちづくり事業を実施するとともに、平成14年に完成した竜門ダムの管理等を行っています。

特に河川改修では戦後第2位相当となる昭和57年7月洪水等を概ね安全に流下できるようにするため、上下流と比較して流下能力が低く、浸水被害が頻発している菊池川中流部を中心に整備を進めています。今後は気候変動による降雨量の増加等を考慮した新しい治水計画に見直し、「流域治水」の推進を図って参りたいと思います。



▲元玉名地区河川防災ステーション整備



▲菰田橋架替工事

Q 今年度の事業概要について

【河川事業】

菊池川の河川整備事業としては、平成23年9月に策定した「菊池川水系河川整備計画」に基づき、下流部の玉名市内では河川堤防や防災拠点となる河川防災ステーションの整備、中流部の和水町や山鹿市では河道掘削、引堤工事、河道拡幅に伴う菰田橋架替え、上流部の菊池市では堤防強化工事等の整備のほか、樋管の無動力化など河川管理施設の維持修繕を行っています。また、「かわ」とそれにつながる「まち」を活性化するため、菊池川流域では山鹿市、玉名市、菊池市で「かわまちづくり」に取り組んでいます。



▲ドラゴンキャンプ場
(河川オープン化制度の活用)

【ダム管理】

菊池川の支川迫間川の上流に位置する竜門ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、利水補給(かんがい用水、工業用水、水道用水)を目的とした多目的ダムとして、平成14年度より運用しています。近年頻発する異常気象による洪水被害の防止・軽減するとともに、安定的に水を供給する等、地域の発展や活性化に貢献すべく管理運用を行っています。



▲竜門ダム

Q地域建設業への要望・メッセージ

地域の建設業は、河川の整備や維持はもとより、近年の気候変動による水害の頻発化、激甚化の中で災害時の対応を担って頂いており、心から感謝申し上げますとともに、地域の守り手として大事なパートナーと考えています。魅力ある建設業界とするために働き方改革、生産性向上は喫緊の課題ですが、建設業界の皆様と意見交換させていただき、よりよい現場づくりに取り組んで参りたいと思います。

Q地域との連携・協働について

菊池川には、14団体、5個人で構成される「菊池川流域連携会議」という組織があります。菊池川流域内において、川を活かした地域づくりや川遊び、また、川をテーマにした環境問題に取り組んでいるなど川を中心として活動を行っている住民団体等の皆さんが、「菊池川の水を飲めるように」を合言葉に平成15年3月に集まり、長年にわたり活動されている歴史と伝統ある連携会議であり、平成27年3月には河川協力団体に指定されています。

近年では「竜門ダムフェスタ(例年9月開催)」や「菊池川を観察する体験塾」、特定外来種である「ブラジルチドメグサの駆除」などの活動を行っていただき、菊池川を守り育てていく良きパートナーとして引き続き連携し、共に汗をかきながらより良い菊池川となるよう取り組んで参りたいと思います。



▲菊池川流域連携会議による川の清掃活動(ブラジルチドメグサの駆除)

Q趣味や健康法について

健康法として特に気を付けているものはありませんが、強いて言うなら職場までは徒歩通勤により体を動かしたり、毎週水曜日の夕方には職場の有志によりバドミントンで汗を流してリフレッシュしています。趣味は釣りやゴルフですが、温泉も好きです。嬉しいことに菊池川流域内には美肌の湯と称されるような温泉が数多くありますので、週末は楽しんでいきたいと考えています。

プロフィール



R 7 年 4 月 現職

鹿児島県出身、53歳
H4年4月 建設省入省
R元年4月 九州地方整備局宮崎河川国道事務所
調査第一課 課長
R3年4月 九州地方整備局河川部河川工事課 課
長補佐
R5年4月 国土交通省水管理・国土保全局
防災課 災害査定官